

中1

中学数学

ポイント

名前 _____

正負の数 加法と減法

_____ 月 _____ 日

ポイント 正負の数 加法と減法

教科書 P.29～P.40

標準

同符号なら絶対値の和、異符号なら絶対値の差。ひき算は、ひく数の符号を変えてたし算にする。

例

$$\begin{aligned}(1) & (+3) + (+5) \\ & = +(3 + 5) \\ & = 8\end{aligned}$$

$$(+3) + (+5) = +(3 + 5)$$

同符号 → 絶対値の和に、共通の符号

$$\begin{aligned}(2) & (-3) + (-5) \\ & = -(3 + 5) \\ & = -8\end{aligned}$$

$$(-3) + (-5) = -(3 + 5)$$

同符号 → 絶対値の和に、共通の符号

$$\begin{aligned}(3) & (+3) + (-5) \\ & = -(5 - 3) \\ & = -2\end{aligned}$$

$$(+3) + (-5) = -(5 - 3)$$

異符号 → 絶対値の差に、絶対値の大きいほうの符号

$$\begin{aligned}(4) & (+3) - (-5) \\ & = (+3) + (+5) \\ & = 8\end{aligned}$$

$$(+3) - (-5) = (+3) + (+5)$$

ひき算 → ひく数の符号を変えて、たし算に

$$\begin{aligned}(5) & -2 + 5 - 7 \\ & = -2 - 7 + 5 \\ & = -9 + 5 \\ & = -4\end{aligned}$$

$$-2 - 7 + 5$$

かっこを省いた式は、負の項・正の項ごとにまとめる

